

兵庫県下の経済動向

平成24年6月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、足踏み状態が続いている。海外経済の減速等を背景に、輸出や生産はやや弱含んで推移している。一方で、個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善基調が続いている。この間、住宅投資は底打ち感が窺われている。設備投資は全体として持ち直している。公共投資は減少傾向にある中で、このところ大口工事の発注もみられている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月ぶりに前年を上回った。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車すべて増加し、全体では8か月連続で前年を上回った。家電販売は、スマートフォンが引き続き好調なほか、白物家電でも節電意識の高まり等を受けた買換え需要がみられているものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業は増加計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家が増加したものの、分譲が減少し、全体では2か月ぶりに前年を下回った。

公共工事は、国、兵庫県が減少したものの、神戸市、神戸市を除く市町、独立行政法人、その他の団体などが増加したことから、2か月連続で前年を上回った。

貿易は、輸出が米国、EU向けが増加したものの、中国を含むアジア向けが減少し、5か月連続で前年を下回った。また、輸入については3か月連続で前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、化学工業、一般機械工業、金属製品工業などの上昇により2か月ぶりに上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月と同じとなり、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間および常用労働者数は前年を下回ったものの、一人当たり名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数は前月および前年と同数となり、金額は前月および前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

3月の兵庫DIは、先行57.1%、一致指数11.1%、遅行指数28.6%となった。

3月の兵庫CIは、先行指数96.6、一致指数93.2、遅行指数103.5となった。

兵庫DIは、先行指数が4か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回り、一致指数および遅行指数が4か月ぶりに50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月ぶりに前月差増となり、一致指数および遅行指数が2か月連続で前月差減となった。

県統計課は基調判断を「足踏み」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

4月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は96.4、前月比1.5%上昇。出荷指数は95.2、同1.3%上昇。在庫指数は139.4、同3.0%上昇。在庫率は149.2、同12.3%上昇。生産指数は2か月ぶり、出荷指数は4か月ぶりに上昇、在庫指数は6か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が2.5%減で2か月連続で低下、出荷は1.6%減で3か月連続で低下した。また在庫は23.8%増で22か月連続で上昇した。

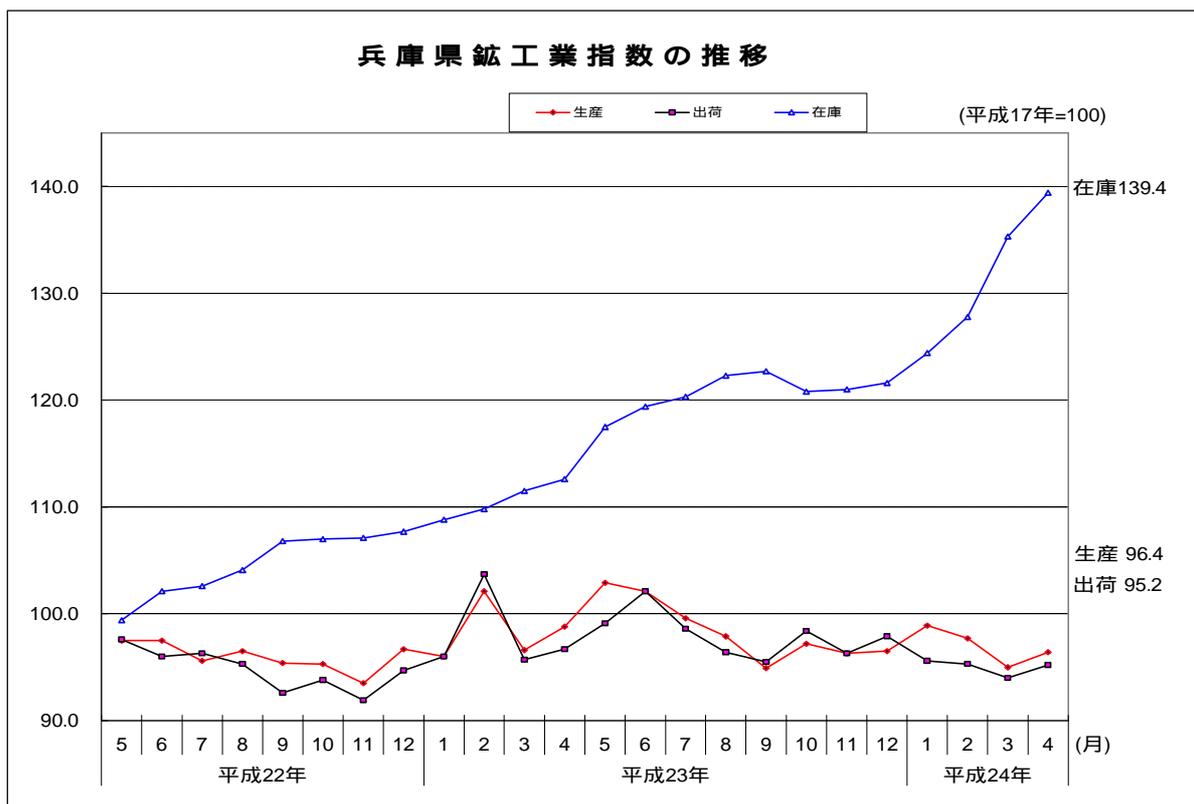
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、医薬品等の「化学」が15.5%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が2.5%、ボイラ部品等の「一般機械」が1.5%、各々上昇し、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が5.1%、電界効果型トランジスタ等の「電子部品・デバイス」が4.5%、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が4.3%、太陽電池モジュール等の「電気機械」が3.0%、鋳鉄管等の「鉄鋼」が2.9%、ビール類等の「食料品」が1.9%、各々低下した。

県統計課は、基調判断を「やや弱い動き」から「横ばい」に上方修正した。

4月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数		原 指 数	
	対前月比増減(%)	対前年同月比増減(%)	対前月比増減(%)	対前年同月比増減(%)
生 産	96.4	1.5	91.2	2.5
出 荷	95.2	1.3	88.3	1.6
在 庫	139.4	3.0	135.6	23.8
在 庫 率	149.2	12.3	153.3	27.3

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



4月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	95.3	2.9	上昇	特殊鋼熱間圧延鋼材、普通鋼鋼管、プリキ、大中小形鋼
			低下	鋳鉄管、亜鉛めっき鋼板、H形鋼、普通鋼冷延電気鋼帯
金属製品	85.3	2.5	上昇	ガス温風暖房機、橋りょう、ガス湯沸器、超硬チップ
			低下	うす板ばね、粉末や金製機械材料、線ばね、機械刃物
一般機械	98.9	1.5	上昇	ボイラ部品、建設用クレーン、油圧バルブ、熱交換器
			低下	蒸気タービン部品、一般用蒸気タービン、反作用機器、コンベヤ
電気機械	124.0	3.0	上昇	リチウムイオン蓄電池、クッキングヒーター、一般用エンジン発電機、アルカリ蓄電池
			低下	太陽電池モジュール、開閉制御装置、プログラマブルコントローラ、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)
情報通信 機械	94.5	4.3	上昇	陸上移動通信装置(携帯電話以外)、カーナビゲーション、テレメータ・テレコントロール、固定通信装置
			低下	パーソナルコンピュータ、レーダ装置、カーオーディオ、搬送装置
電子部品 デバイス	108.7	4.5	上昇	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、トランス(コイルを含む)、シリコントランジスタ(1W以上)
			低下	電界効果型トランジスタ、PDPモジュール、線形半導体集積回路、シリコンダイオード
輸送機械	78.9	5.1	上昇	二輪自動車(125ml超)、ショベルトラック、二輪自動車部品、シャシー・車体部品
			低下	船用ディーゼル機関、特装ボデー、鋼船、機関部品
化 学	90.9	15.5	上昇	医薬品、化粧品、脂肪酸、エポキシ樹脂
			低下	無水酢酸、石油化学品製造用触媒、溶剤系合成樹脂塗料、ポリスチレン
食 料 品	96.1	1.9	上昇	清酒、冷凍調理食品、米穀粉、牛乳
			低下	ビール類、肉製品、精米、めん類

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた5月の県内百貨店売上高は、前年同月比2.7%増の164億60百万円で、2か月ぶりに前年を上回った。

4月末に食品フロアを全面改装した大丸神戸店が売り上げを伸ばし、全体をけん引した。

神戸地区は3.6%増で、大丸神戸店は売上高を10.6%伸ばした。紳士服・洋品部門では、夏場の軽装「クールビズ」の浸透で高単価のジャケットが低調となり、前年を下回る店舗もあった。

姫路・加古川地区は1.4%減。前年の催事の反動減や、気温が上がらずクールビズ関連商品が低調だったことなどが響いた。なお、ヤマトヤシキ加古川店が5月末まで食品フロアを一部改装していた影響などで、食料品部門が前年を下回った。

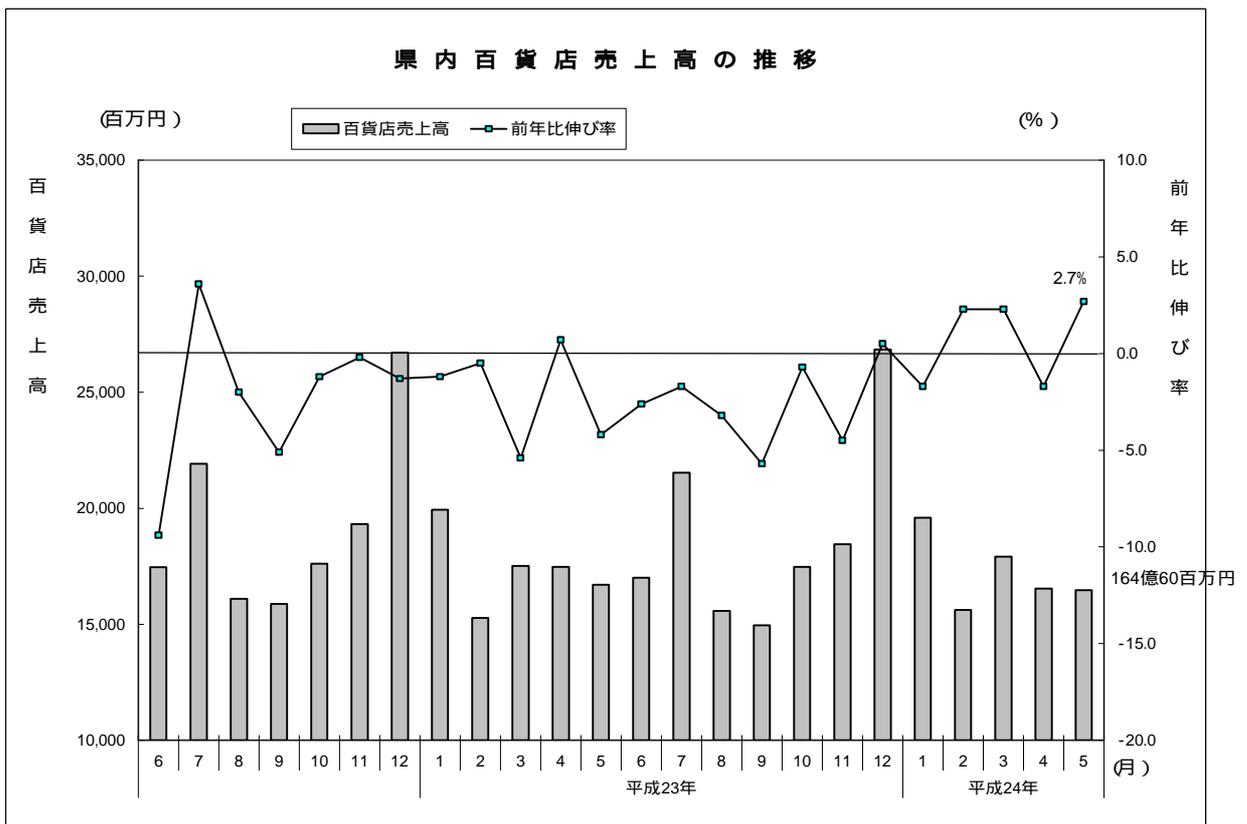
5月の県内百貨店売上高

品 目	地 区		合 計
	神 戸	姫 路	
紳士服・洋品	729(2.7)	190(16.0)	920(1.9)
婦人服・洋品	4,027(5.6)	693(0.4)	4,720(4.7)
子供服・洋品	379(1.2)	82(1.2)	461(1.2)
身の回り品	1,514(2.7)	317(13.8)	1,832(0.2)
家庭用品	572(1.2)	160(4.8)	732(2.0)
食料品	3,893(6.5)	744(2.2)	4,637(5.0)
雑貨	1,783(1.1)	387(4.2)	2,170(0.1)
その他	687(4.5)	296(0.1)	984(3.0)
計	13,588(3.6)	2,871(1.4)	16,460(2.7)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内5月の乗用車新車登録台数は12,881台、前年同月比68.6%増と8か月連続で前年同月の実績を上回った。

5月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,300台(前年同月比81.2%増)、小型乗用車は3,941台(同41.5%増)、軽乗用車は4,640台(同87.1%増)、乗用車合計で12,881台(同68.6%増)となった。

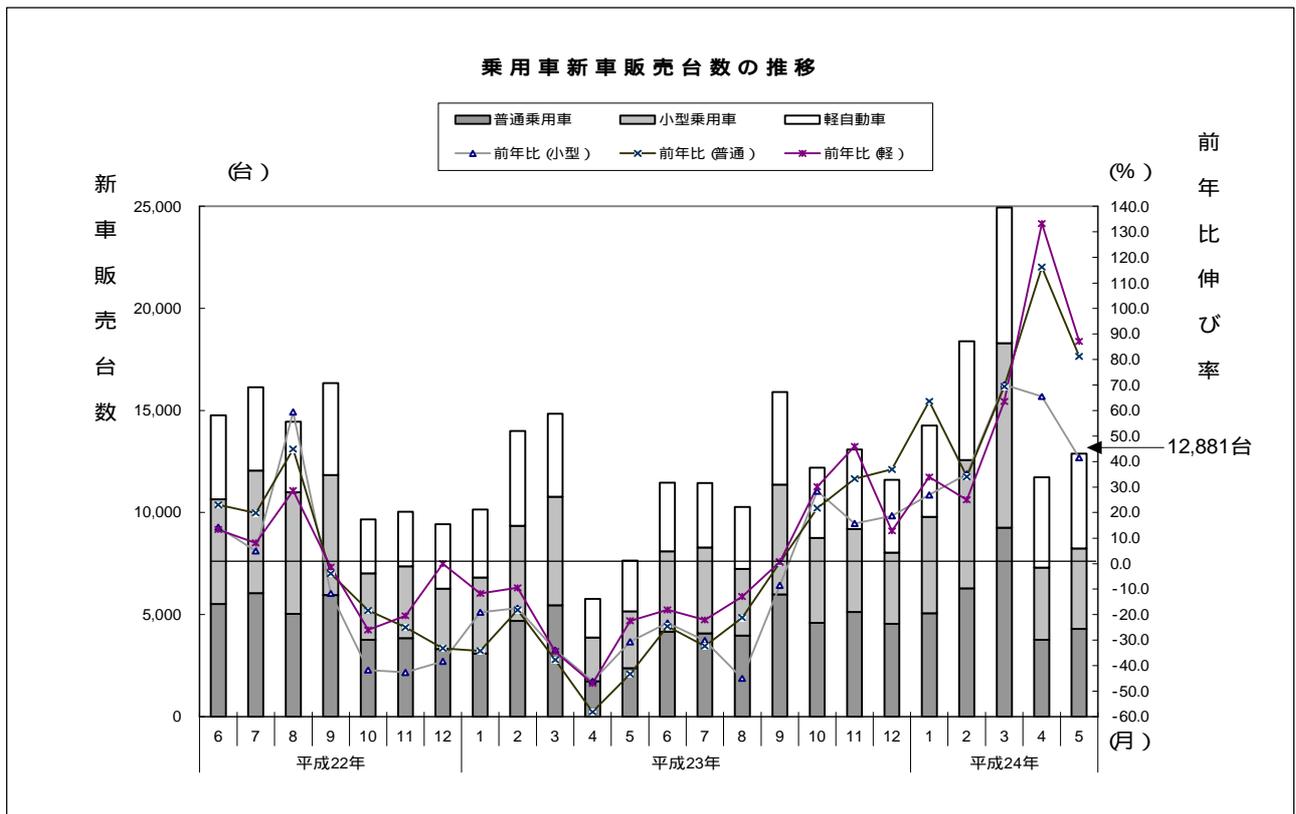
また貨物車等では、普通貨物車は208台(同103.9%増)、小型貨物車は443台(同38.4%増)、軽貨物車は1,176台(同36.6%増)、バスは28台(同366.7%増)となった。

5月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,300	81.2	99,118	73.0
小型乗用車	3,941	41.5	111,700	56.8
軽乗用車	4,640	87.1	127,158	76.8
乗用車合計	12,881	68.6	337,976	68.6
普通貨物車	208	103.9	9,526	156.4
小型貨物車	443	38.4	15,286	59.1
軽貨物車	1,176	36.6	31,421	34.9
貨物車合計	1,827	42.4	56,233	53.6
バス	28	366.7	736	158.2
登録車総計	14,736	65.1	394,945	66.4

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が6月13日に発表した機械受注統計によると、平成24年4月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、24年3月前月比4.1%増の後、4月は同4.0%減の2兆1,201億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、3月前月比2.8%減の後、4月は同5.7%増の7,886億円となった。

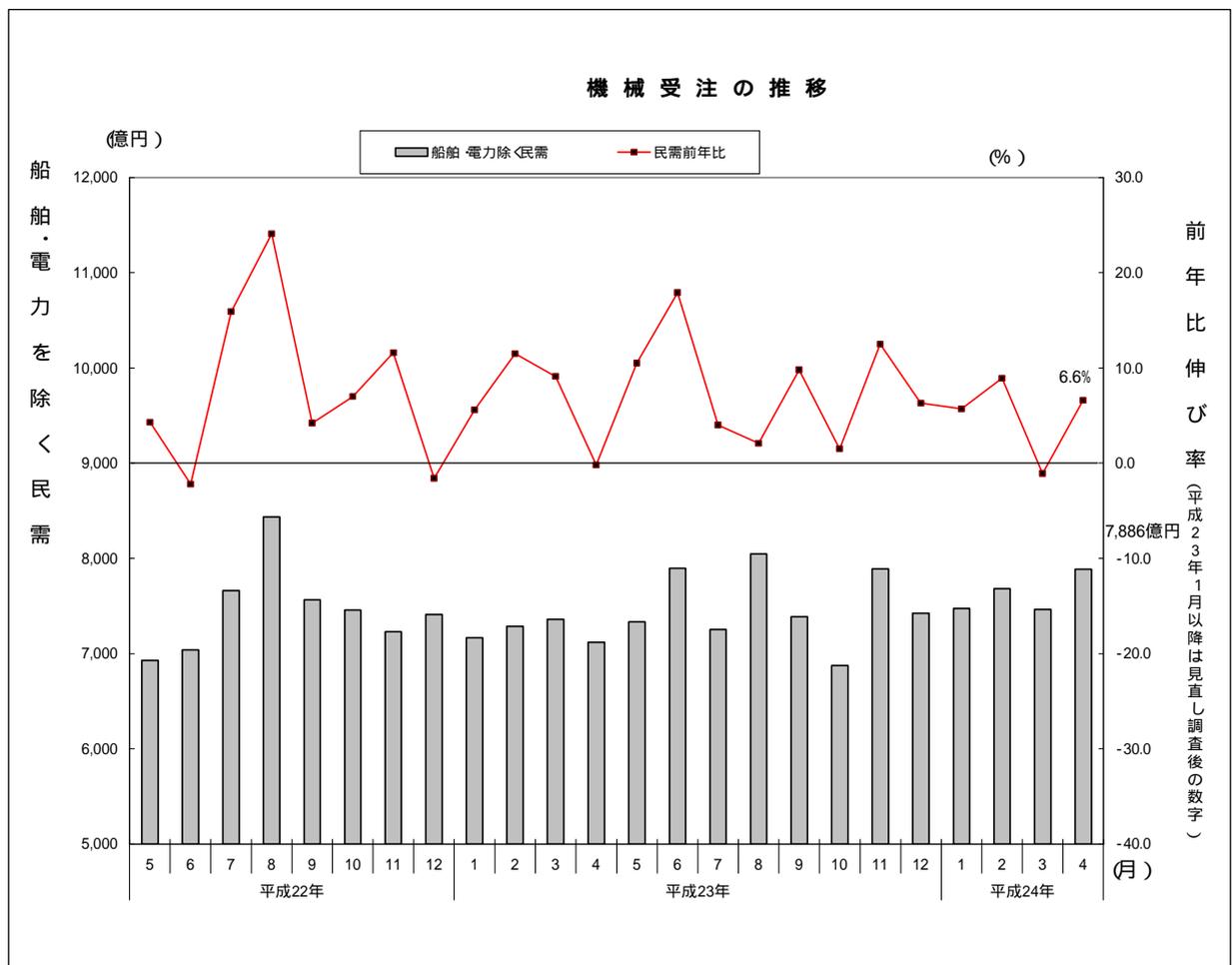
内訳をみると、製造業が同3.4%増の3,282億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同5.7%増の4,418億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、パルプ・紙・紙加工品(76.8%増)、石油製品・石炭製品(73.4%増)、化学工業(37.6%増)、非鉄金属(33.9%増)、情報通信機械(19.4%増)等の8業種で、造船業(34.2%減)、精密機械(21.9%減)、自動車・同付属品(20.0%減)、鉄鋼業(15.3%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業(101.5%増)、電力業(43.7%増)、卸売業・小売業(41.1%増)、リース業(12.2%増)、農林漁業(11.8%増)、運輸業・郵便業(7.4%増)等の10業種で、通信業(5.9%減)、金融業・保険業(0.5%減)の2業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2012年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+3.9%(製造業+13.6%、非製造業 26.1%)



機械受注統計（平成24年4月分）

	23年 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	24年 1～3月 実績	4～6月 見通し	24年 1月 実績	24年 2月 実績	3月 実績	4月 実績
受注総額	61,803 (-6.7) [9.4]	59,045 (-4.5) [-2.5]	62,834 (6.4) [1.4]	67,292 (7.1) [3.2]	60,971 (-9.4) [-6.9]	23,970 (13.4) [9.8]	21,227 (-11.4) [-9.3]	22,094 (4.1) [8.1]	21,201 (-4.0) [7.5]
民需	27,754 (0.9) [15.4]	27,423 (-1.2) [3.6]	27,404 (-0.1) [-0.3]	26,253 (-4.2) [-1.8]	26,445 (0.7) [-11.3]	8,680 (4.6) [-2.9]	8,979 (3.5) [-13.4]	8,594 (-4.3) [7.0]	10,003 (16.4) [18.4]
” (Ex 船・電)	22,240 (2.8) [9.8]	22,592 (1.6) [5.8]	22,425 (-0.7) [6.7]	22,620 (0.9) [3.3]	23,178 (2.5) [-3.3]	7,475 (0.7) [5.7]	7,681 (2.8) [8.9]	7,463 (-2.8) [-1.1]	7,886 (5.7) [6.6]
製造業	9,861 (0.7) [17.2]	9,861 (0.0) [4.4]	9,792 (-0.7) [4.1]	9,804 (0.1) [-0.5]	10,055 (2.6) [-5.6]	3,165 (-1.3) [-0.6]	3,465 (9.5) [6.7]	3,174 (-8.4) [-4.8]	3,282 (3.4) [3.5]
非製造業 (Ex 船・電)	12,351 (4.2) [4.2]	12,793 (3.6) [7.2]	12,728 (-0.5) [8.6]	12,791 (0.5) [6.4]	12,859 (0.5) [-3.3]	4,260 (1.4) [11.7]	4,351 (2.1) [10.8]	4,180 (-3.9) [1.7]	4,418 (5.7) [9.0]
官公需	6,318 (1.4) [-6.9]	6,166 (-2.4) [-11.0]	6,756 (9.6) [1.0]	7,496 (10.9) [30.6]	6,258 (-16.5) [1.4]	2,304 (-16.1) [16.2]	2,163 (-6.1) [-2.5]	3,028 (40.0) [49.4]	2,877 (-5.0) [41.7]
外需	25,148 (-9.8) [7.1]	24,273 (-3.5) [-6.8]	25,912 (6.7) [1.9]	27,613 (6.6) [-1.3]	24,932 (-9.7) [-6.2]	10,590 (14.6) [18.3]	9,174 (-13.4) [-9.0]	7,849 (-14.4) [-10.0]	7,876 (0.3) [-9.6]
代理店	2,566 (3.3) [7.8]	2,394 (-6.7) [-2.0]	2,673 (11.6) [15.7]	2,946 (10.2) [20.4]	2,795 (-5.1) [6.8]	893 (-2.1) [8.2]	927 (3.8) [14.8]	1,126 (21.5) [34.1]	888 (-21.1) [-7.3]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内4月の新設住宅着工戸数は、総数で2,579戸(前年同月比1.1%減)となり、持家、貸家が増加したものの、分譲住宅が減少し、全体では2か月ぶりに前年を下回った。また、前月比では344戸の減少となった。

4月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	805	9.7	24,137	2.5
・分譲住宅	929	24.5	22,969	13.0
貸家系・貸家	841	36.3	25,823	16.5
・給与住宅	4	84.0	718	0.1
総数	2,579	1.1	73,647	10.3

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

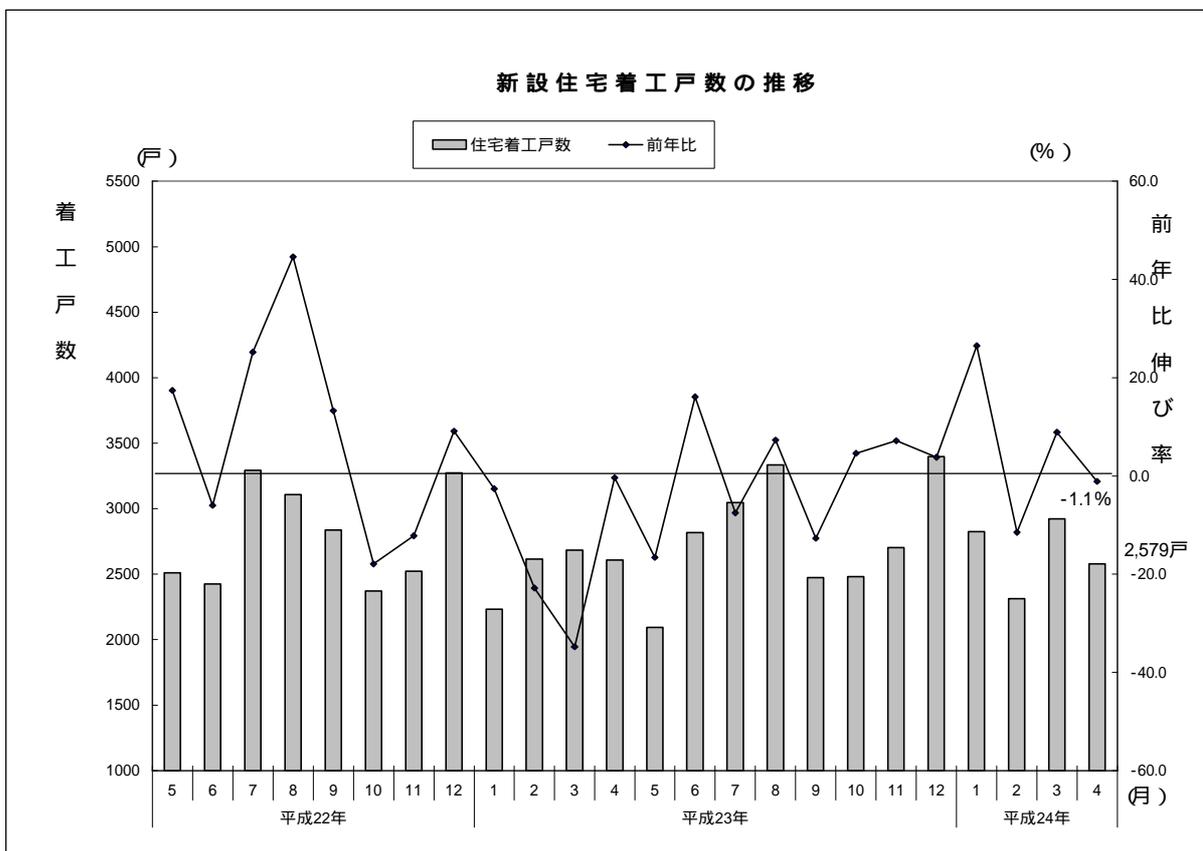
4月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	642	613	244	446	85	344	126	17	25	37	2,579
前月比	-4	-431	-148	165	11	60	10	-17	8	2	-344

資料：兵庫県住宅計画課

平成24年4月の新設住宅着工累計は、総数で2,579戸、前年同期比28戸の減少となった。利用関係別では「持家」が805戸(前年同期比9.7%増)、「分譲住宅」が929戸(同24.5%減)、「貸家」が841戸(同36.3%増)、「給与住宅」が4戸(同84.0%減)となった。



【公共工事】

5月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は296件で前年同月比35.2%の増加、請負金額は192億96百万円で同22.3%の増加となり、金額ベースでは2か月連続で前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」が前年同月比17.2%、「兵庫県」が同1.7%の減少となったものの、「神戸市を除く市町」186.4%、「その他の団体」同39.9%、「神戸市」同9.8%、「独立行政法人等」同1.3%の増加となり、前年同月を上回った。

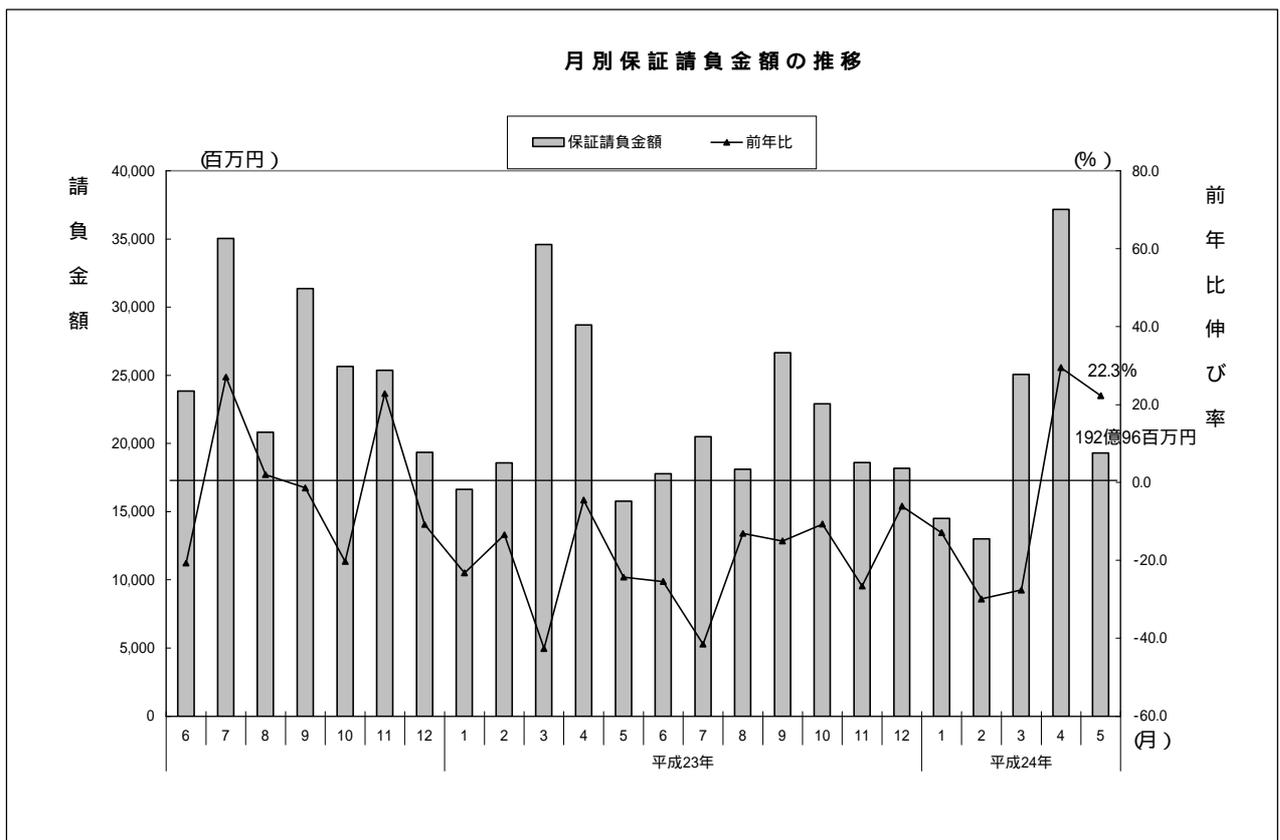
地域別(金額ベース)では、淡路(前年同月比75.6%減) 但馬(同33.3%減) 阪神南(同13.9%減)で減少、北播磨(同261.0%増) 丹波(同251.5%増) 東播磨(同209.8%増) 神戸市(同62.9%増) 阪神北(同62.9%増) 西播磨(同52.3%減) 中播磨(同12.7%増)で増加となった。

5月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	7(53.3)	1,738(17.2)	加古川中央JCTランプ改良工事
独立行政法人等	14(55.6)	1,547(1.3)	新名神高速道路船坂川橋(鋼上部工)工事、 神戸大学(六甲台1)本館等改修その他工事
兵庫県	138(53.3)	8,390(1.7)	国道482号鶴岡道路、丹波加美線(仮称)清水坂トンネル建設工事丹波工区、 光風病院児童思春期病棟その他機械設備工事
神戸市	24(4.0)	1,436(9.8)	要玄寺川放水路築造工事
神戸市を除く市町	107(50.7)	5,772(186.4)	明石市新斎場火葬場棟新築(建築)工事、 西脇南中学校改築工事
その他の団体	6(33.3)	412(39.9)	
合計	296(35.2)	19,296(22.3)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成24年4月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,548億円、前年同月比7.9%の減少で、総額ベースで5か月連続の減少となった。輸出は、船舶などが増加したものの、音響・映像機器の部分品、重電機器などが減少した。一方、輸入は、衣類及び同付属品などが増加したものの、たばこ、原動機などが減少した。

輸出は4,398億円(前年同月比6.1%減)と5か月連続で前年を下回った。

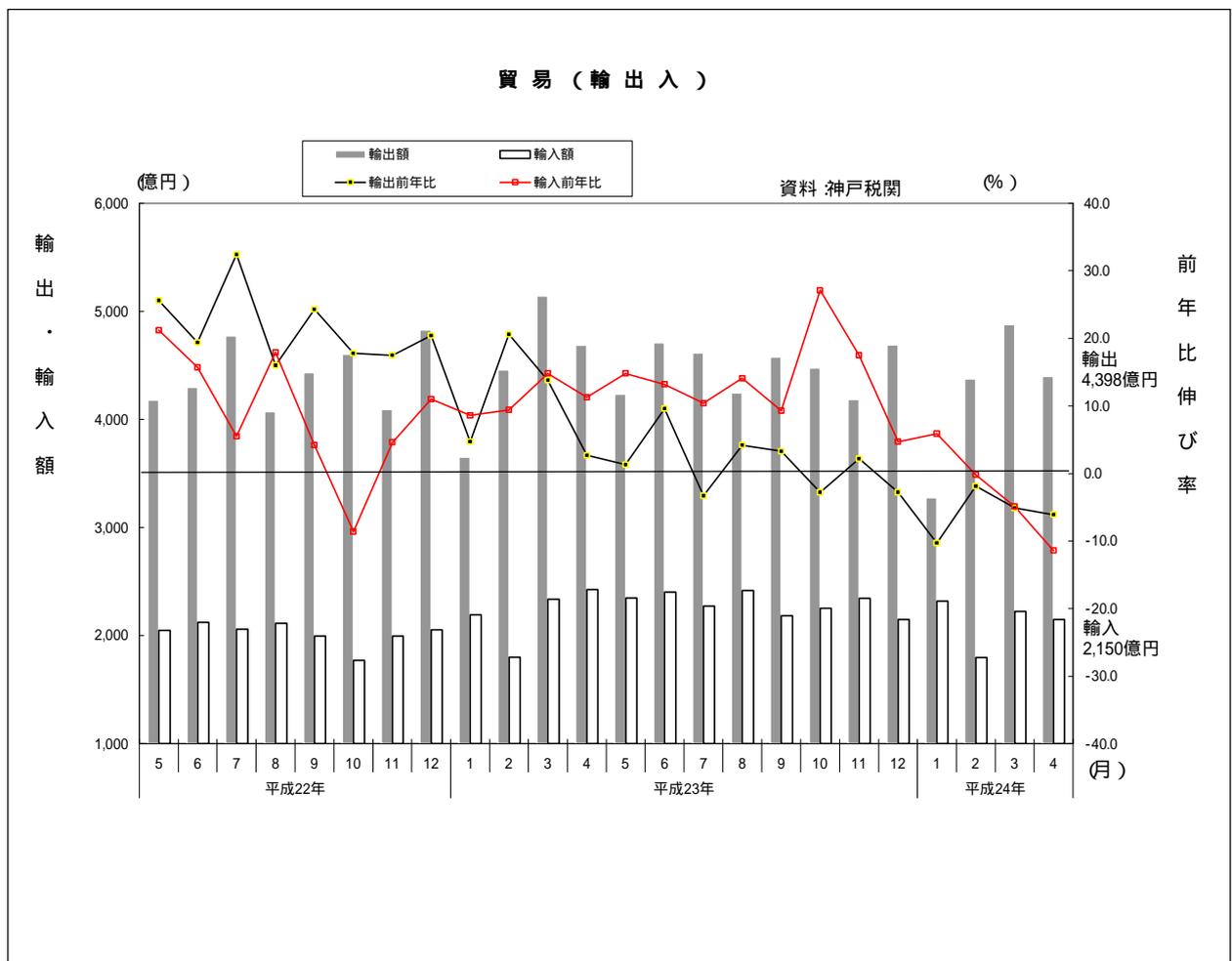
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比5.6%増、3か月ぶりにプラス)が増加し、織物用糸及び繊維製品(同5.2%減、4か月ぶりにマイナス)、原動機(同3.6%減、3か月ぶりにマイナス)、プラスチック(同16.4%減、10か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比14.8%増、2か月ぶりにプラス)、EU(同2.4%増、4か月ぶりにプラス)向けが増加し、アジア(中国含む)(同11.2%減、7か月連続マイナス)、中国(同16.1%減、7か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,150億円(前年同月比11.4%減)と3か月連続で前年を下回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比38.4%増、10か月連続プラス)が増加し、たばこ(同42.2%減、2か月連続マイナス)、非鉄金属(同37.8%減、6か月連続マイナス)、有機化合物(同17.8%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(中国含む)(前年同月比0.5%増、2か月連続プラス)、中国(同2.6%増、3か月ぶりにプラス)が増加し、米国(同20.9%減、4か月連続マイナス)、EU(同31.1%減、2か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

5月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.2(平成22年=100)となり、前月比は0.1%下落、前年同月比は0.4%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前月比は0.2%下落、前年同月比は変わらずとなった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.6となり、前月比は0.2%下落、前年同月比は0.3%下落となった。

前月からの動きを見ると、果物などの上昇により「食料」が0.1%、医薬品・健康保持用摂取品などの上昇により「保健医療」が0.4%、それぞれ上昇した。しかしながら、教養娯楽用耐久財の下落により「教養娯楽」が0.8%、シャツ・セーター・下着類の下落により「被服及び履物」が0.6%、自動車等関係費などの下落により「交通・通信」が0.2%、設備修繕・維持の下落により「住居」が0.1%、ガス代の下落により「光熱・水道」が0.1%、家事用消耗品などの下落により「家具・家事用品」が0.3%、それぞれ下落した結果、総合では0.1%の下落となった。

5月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具家事用品	被服及履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	100.2	99.8	101.7	104.9	97.7	101.4	98.9	99.3	100.1	96.4	102.5	100.0	99.6
前月比	-0.1	0.1	-0.1	-0.1	-0.3	-0.6	0.4	-0.2	0.0	-0.8	0.0	-0.2	-0.2
前年同月比	0.4	1.1	0.2	4.1	-0.2	-0.4	-1.4	0.3	0.0	-1.2	-0.6	0.0	-0.3

(注)平成22年=100

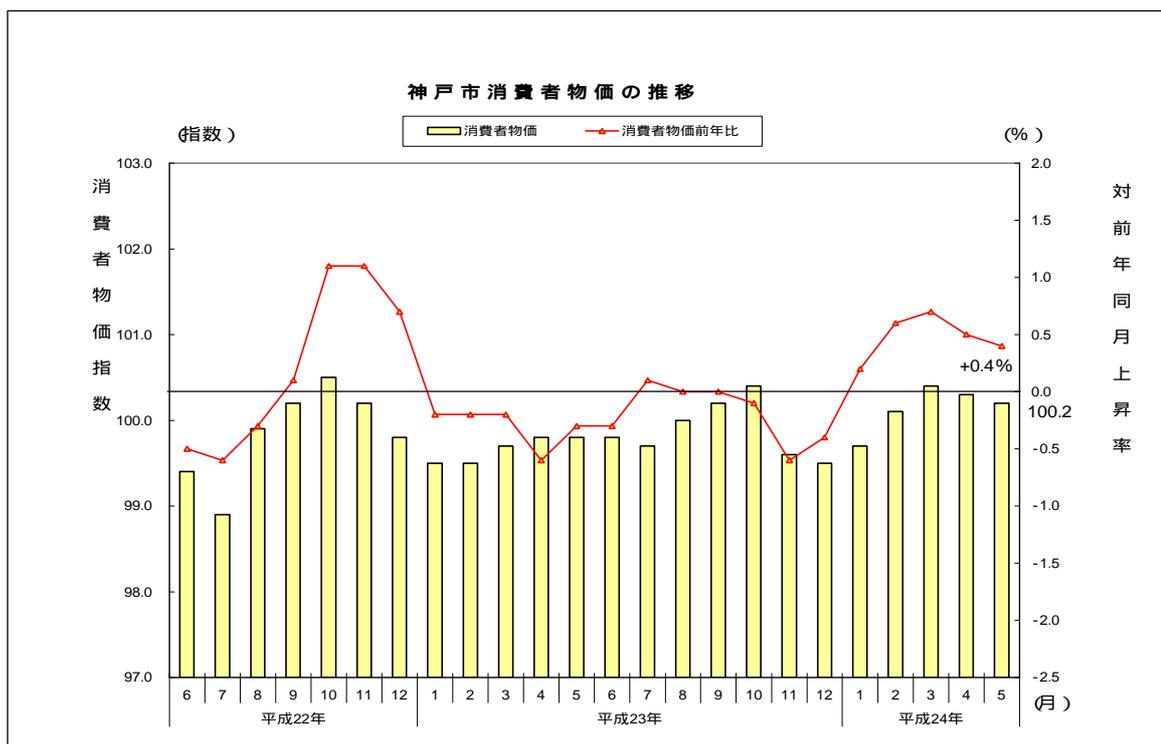
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

果物 (+ 9.1%)・・・りんご(ふじ)、いちご、グレープフルーツ
 医薬品・健康保持用摂取品(+ 1.0%)・・・サプリメント、はり薬、漢方薬

対前月比値下がりした主な品目

教養娯楽用耐久財 (7.7%)・・・テレビ、ビデオレコーダー、ノートパソコン
 シャツ・セーター・下着類(3.3%)・・・ブラウス(半袖)、婦人Tシャツ(半袖)



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が6月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2012年5月の実績は次のとおり。

5月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.0	0.4	0.5
輸 出 物 価	83.3	2.5	3.4
輸 入 物 価	119.6	3.3	2.5

資料：日本銀行調査統計局

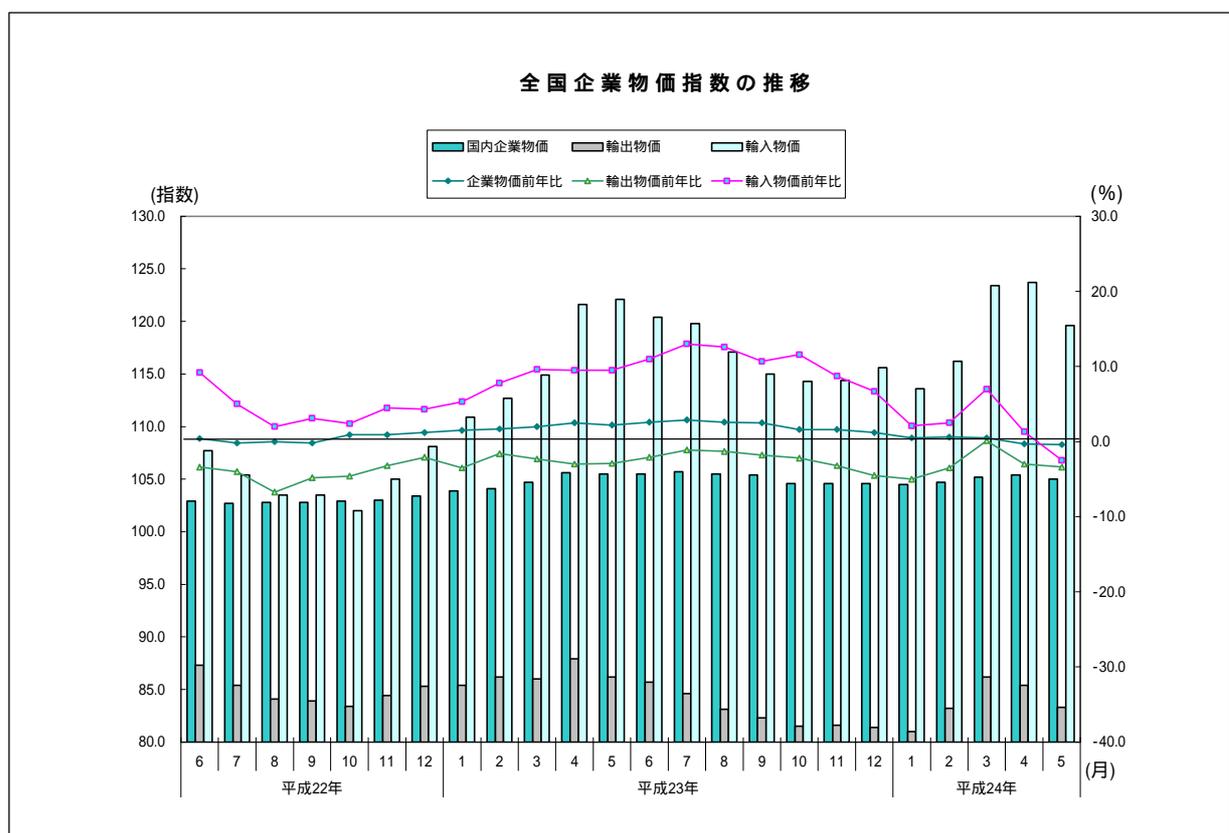
国内企業物価は、石油・石炭製品(前月比-3.9% <ガソリンなど>)、スクラップ類(同-3.9% <鉄くずなど>)、非鉄金属(同-2.7% <銅地金など>)、化学製品(同-0.6% <エチレンなど>)、鉄鋼(同-0.5% <鉄鋼切断品など>)等が下落し、全体では前月比0.4%の下落となった。

前年同月比では0.5%下落し、2か月連続でマイナスとなった。

原料価格の下落で鉄鋼や非鉄金属の価格が下がったことや、円高が進んで輸入品が安くなったためとみられる。

輸出物価は、化学薬品(前月比-4.3% <エチレンなど>)、金属・同製品(同-3.6% <金千金など>)、その他産品・製品(同-2.6% <C重油など>)、電気・電子機器(同-2.2% <集積回路など>)等が下落し、円ベースでは前月比2.5%の下落(前年同月比-3.4%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比-4.8% <原油など>)、金属・同製品(同-4.3% <銅鉱など>)、化学製品(同-2.3% <汎用プラスチックなど>)、食料品・飼料(同-2.1% <パーム油など>)等が下落し、円ベースでは前月比3.3%の下落(前年同月比-2.5%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内4月の新規求人数(全数)は、23,731人(前年同月比10.7%増、前月比14.5%減)で、9か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は67,501人(前年同月比10.7%増、前月比6.5%減)で24か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比7.1%増で26か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同15.1%増で5か月連続で前年を上回った。また臨時・季節では同17.2%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比26.4%増)、製造業(同1.8%増)、卸売業、小売業(同14.9%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同10.5%増)、宿泊業、飲食サービス業(同6.8%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同13.3%増)、医療、福祉(同15.5%増)、サービス業(同11.1%増)は前年を上回ったが、情報通信業(同27.6%減)、運輸業、郵便業(同6.3%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

4月の新規求職申込件数(全数)は、31,360件(前年同月比6.6%減、前月比24.3%増)で、8か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は109,321人(前年同月比5.2%減、前月比6.7%増)で23か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比7.5%減で8か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同5.1%減で8か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比0.6%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比6.5%減で2か月連続、事業主都合離職者は同1.7%減で28か月連続、自己都合離職者は同0.6%減で23か月連続、自営・他は同19.4%減で11か月連続、無業者は同32.4%減で4か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、23,807人(前年同月比0.6%増)で、26か月ぶりに前年を上回った。

(3) 求人倍率状況

4月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.06倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.68倍で前月と同水準となった。

(4) 失業者の状況

4月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.6%、完全失業者数(原数値)は315万人(前年同月比14万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.9%(前年同月より0.3ポイント増)で、完全失業者数(原数値)は61万人(前年同月比3万人増)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
24年4月	23,731	1,833	2,596	241	1,368	3,960	207	569	693	1,847	1,196	5,762	2,739
前年同月比	10.7	26.4	1.8	27.6	6.3	14.9	17.6	43.0	10.5	6.8	13.3	15.5	11.1

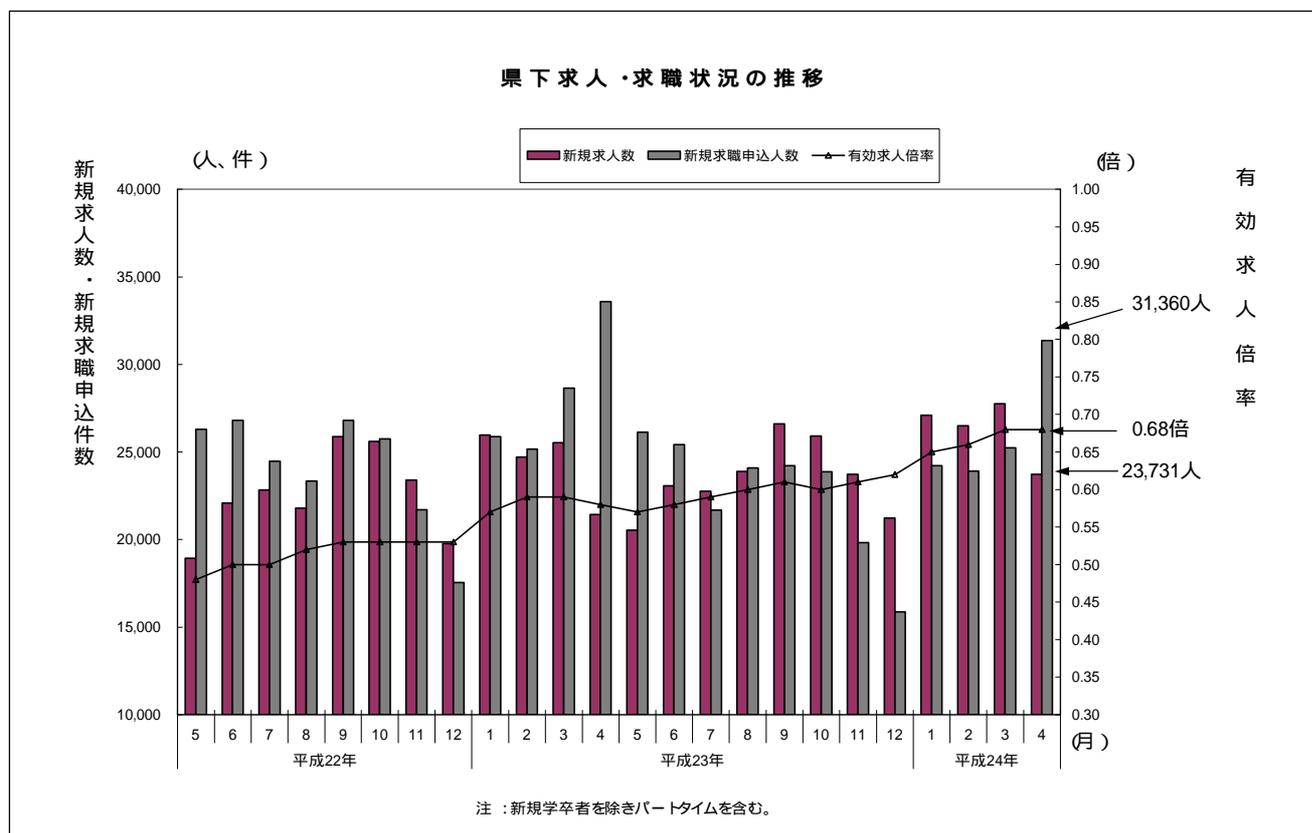
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	11/4-6	11/7-9	11/10-12	12/1-3	12/2	12/3	12/4
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.58	0.60	0.62	0.66	0.66	0.68	0.68
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	4.3	3.9	3.0	6.8	7.2	8.7	10.7
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	7.5	1.0	4.8	2.2	2.5	2.8	3.6
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	0.2	0.6	0.0	0.2	0.1	0.4
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.4	0.9	0.5	1.3	0.4	2.7	3.2

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

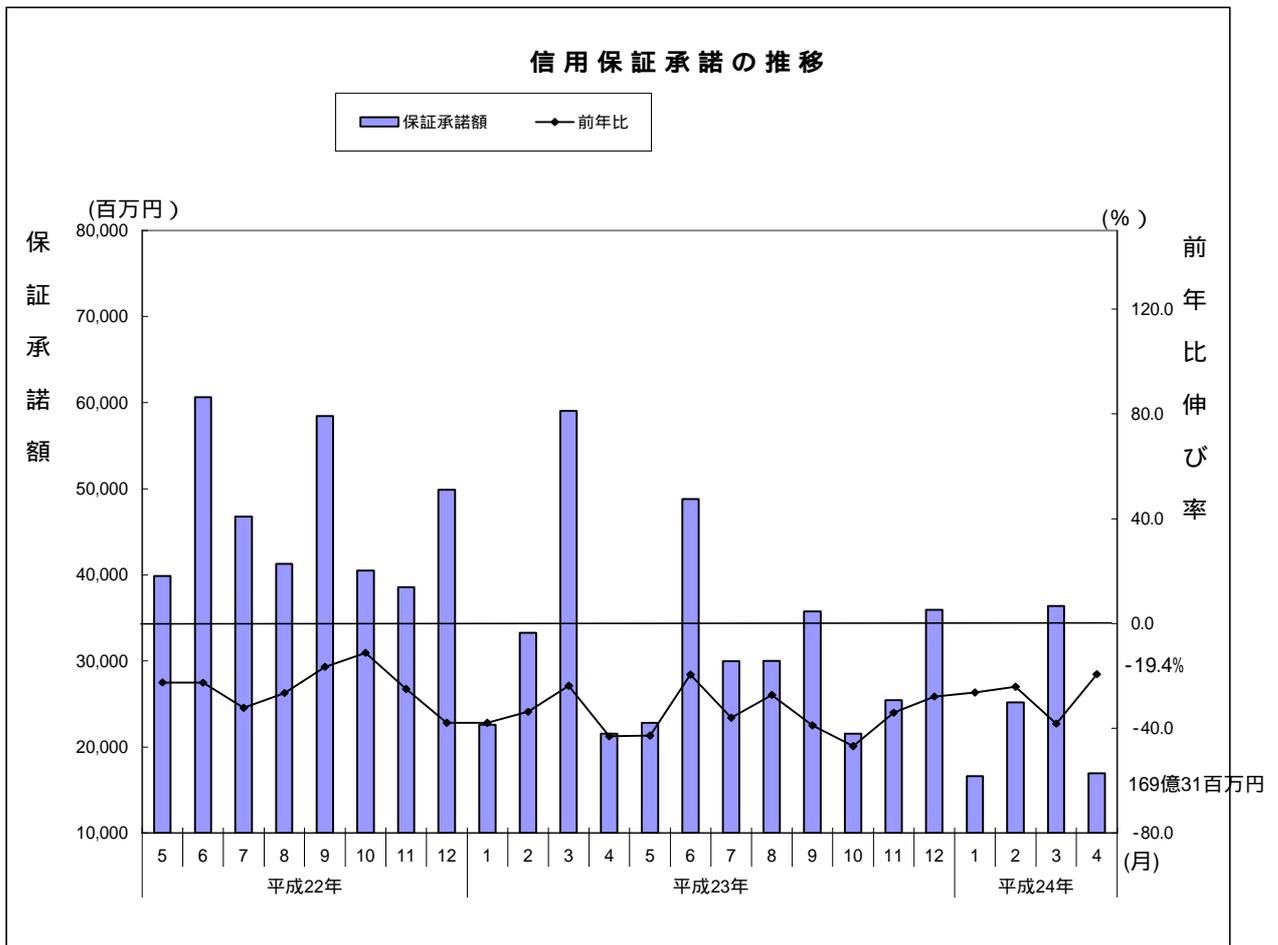
兵庫県信用保証協会による4月の保証承諾実績は、件数で1,361件(前年同月比20.9%減)、金額は169億31百万円(同19.4%減)となり、ともに30か月連続で前年実績を下回った。

リーマンショックを受けた資金繰り支援の緊急保証制度で、承諾が増加したことによる反動減に加えて、景気の先行き不透明感から、新たな借入を控えているとみられ、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」1,060百万円(前年同月比41.3%増)、「飲食店」502百万円(同0.3%増)で前年同月を上回り、「小売業」2,306百万円(同5.4%減)、「不動産業」593百万円(同9.9%減)、「建設業」4,628百万円(同19.9%減)、「サービス業」2,141百万円(同20.7%減)、「製造業」3,131百万円(同26.6%減)、「卸売業」2,527百万円(同33.7%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、133件(前年同月比58.2%減)、17億24百万円(同52.4%減)となった。

4月末の保証債務残高は、113,441件(前年同月比3.9%減)、1兆3,392億円(同7.4%減)となった。



【金融】

4月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	142,300	1.4	55,334	3.0
地方銀行	24,349	2.7	19,993	5.0
第二地方銀行	31,482	2.4	19,773	0.3
信用金庫	79,383	1.4	38,072	0.9
その他	17,056	2.5	17,138	1.0
計	294,570	1.7	150,310	0.6

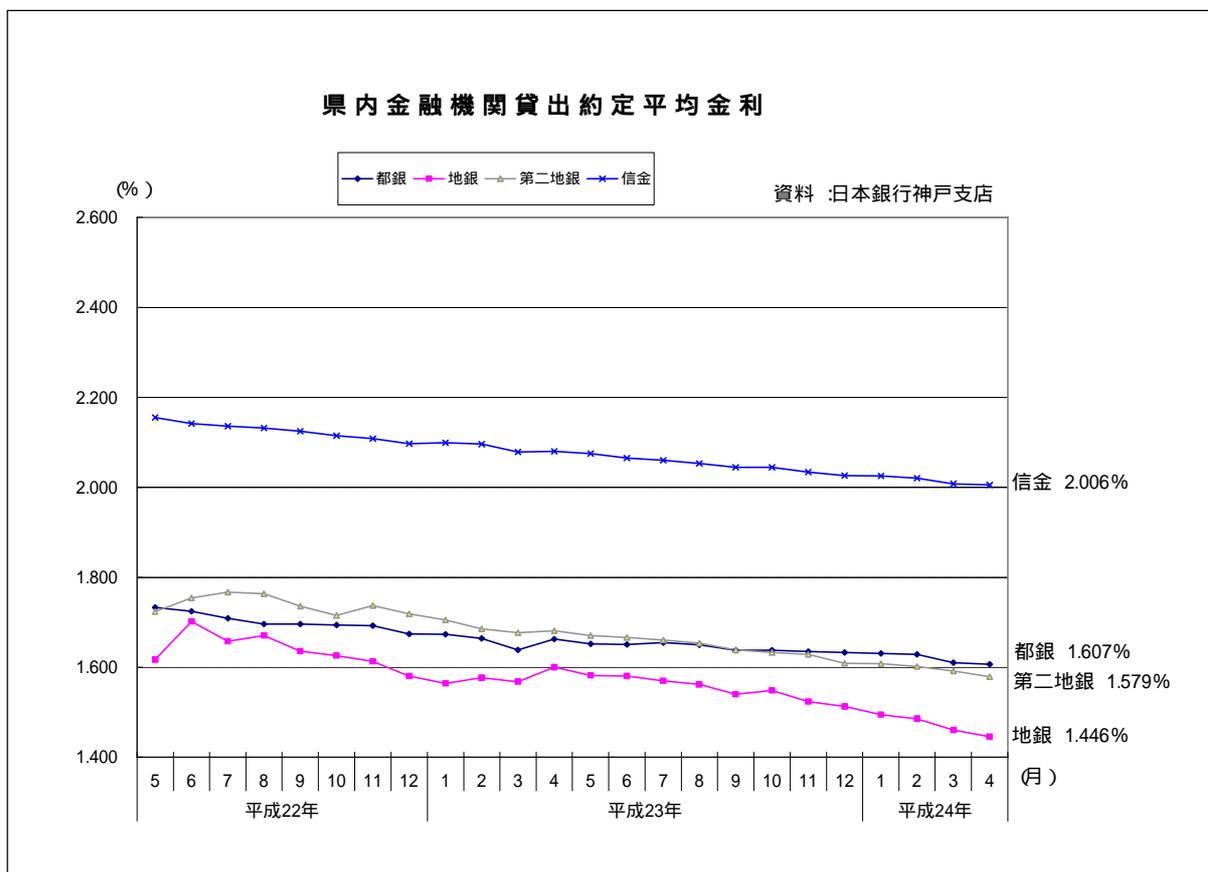
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

4月の預金は、前年を上回って推移している。

4月の貸出は、前年を下回って推移している。

4月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(4月末水準 1.721%、前月比 0.006%ポイント)。



【倒 産】

県内5月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は45件で前年同月と同数、負債総額は601億10百万円で同855.5%の増加となった。

倒産件数は、3か月連続で40件台となったが、負債総額は、神戸市住宅供給公社の民事再生法適用申請により600億円を上回った。

ただ、当月も「個人企業」の倒産がトップに来るなど、小規模事業者の倒産が特徴的であった。

原因別(件数)では、販売不振が34件(全体の75.6%)と前月比4件の増加で当月もトップ。2番目は過小資本と赤字累積が各々4件であった。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は38件と前月比3件の増加で、構成比は84.4%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が13件(全体の28.9%)と最も多く、2番目は金属・機械・電気業および食品業が各々9件、次いで建設業が8件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」が17件でトップ、次いで「1千万円以上」が16件、「1百万円以上」が8件となった。

「産業別」では、「サービス・他業」が13件でトップ、次いで「卸売業」が9件、「建設業」が8件となった。

日銀神戸支店が6月5日に発表した「管内金融経済状況」によると、足踏み状態が続いている」と前回判断と同様基調に据え置いた。EU圏内における債務・金融等問題の再燃から、為替相場は再び円高基調を示しており、日経平均株価も前年度末の一時的な1万円台回復をピークに最近では8000円台で推移するなど、外部環境は決して楽観できる状況にはない。倒産件数自体は小康状態にはあるものの、これらマイナス要因が中小・零細企業に与える影響が引き続き懸念され、今後も「小口倒産」が散発する可能性が高い。

5月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	1	0	5	-4	金属・機械・電気	9	3	6	3	6
過小資本	4	4	0	3	1	化学・薬品	1	0	1	0	1
連鎖倒産	2	4	-2	4	-2	ゴム・皮革・ケミカル	0	1	-1	1	-1
赤字累積	4	4	0	1	3	食品	9	7	2	6	3
販売不振	34	30	4	32	2	建設	8	11	-3	12	-4
売掛金回収難	0	1	-1	0	0	不動産・サービス	13	14	-1	15	-2
その他	0	1	-1	0	0	運輸・通信他	5	9	-4	8	-3
合計	45	45	0	45	0	合計	45	45	0	45	0

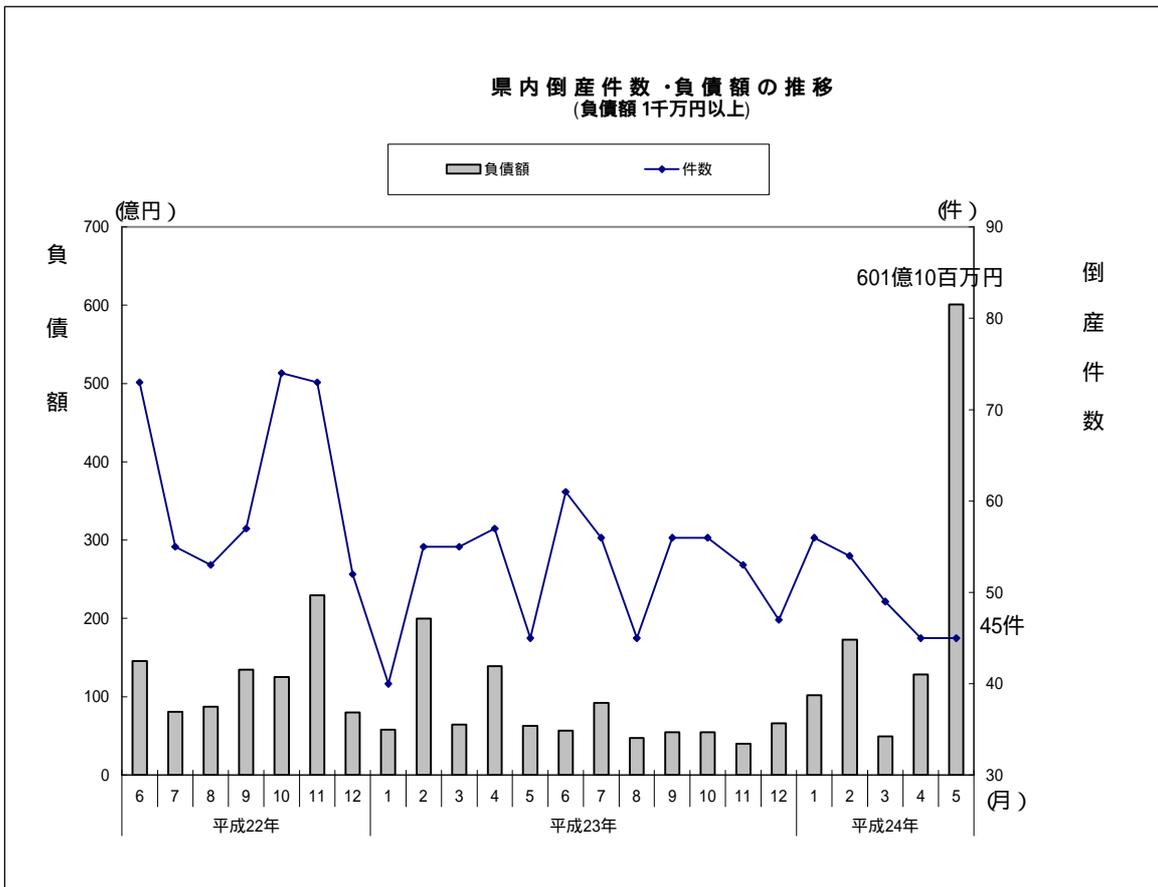
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 1月	56	14	19	6	9	3	0	5
24年 2月	54	17	23	5	2	4	1	2
24年 3月	49	15	23	0	9	1	1	0
24年 4月	45	14	14	7	6	1	2	1
24年 5月	45	16	18	5	5	0	0	1

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比	
23年	1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
	2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
	3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
	4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
	5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	-24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
	6月	102.1	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
	7月	99.6	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
	8月	97.9	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
	9月	94.9	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
	10月	97.2	1.5	92.5	2.2	229	-10.7	3.2	2,480	4.6	-5.8
	11月	96.3	-0.9	90.1	-2.6	186	-26.6	6.8	2,703	7.2	-0.3
	12月	96.5	0.2	93.4	3.8	182	-6.1	0.6	3,398	3.8	-7.3
24年	1月	98.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
	2月	97.7	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
	3月	r 95.0	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
	4月	p 96.4	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
	5月					193	22.3	36.7			
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
資料		兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店		兵庫県住宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比	
23年	1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
	2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
	3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
	4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
	5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
	6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
	7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
	8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	4,244	4.2	2,417	14.2
	9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	4,576	3.3	2,183	9.3
	10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7	-0.8	4,476	-2.8	2,252	27.1
	11月	13,092	30.5	25.1	185	-4.5	-2.2	4,184	2.2	2,345	17.5
	12月	11,605	23.1	20.9	268	0.5	0.7	4,690	-2.8	2,150	4.7
24年	1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
	2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
	3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	p 4,879	-5.1	r 2,225	-4.9
	4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	r 4,398	-6.1	p 2,150	-11.4
	5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7					
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
資料		自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会		兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局		神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	98.9	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	99.2	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	101.1	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	100.8	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	99.7	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	100.1	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	100.1	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	99.5	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	99.8	-1.1	100.2	0.0	99.9	0.0
10月	0.60	0.67	1,005	0.0	99.9	-0.9	100.4	-0.1	100.0	-0.2
11月	0.61	0.69	1,008	0.1	101.4	0.3	99.6	-0.6	99.4	-0.5
12月	0.62	0.71	1,007	0.3	99.9	-0.8	99.5	-0.4	99.4	-0.2
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	r 100.3	0.5	100.4	0.4
5月							p 100.2	0.4		
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数 (件)	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	2.6	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	105.7	2.9	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	105.5	2.6	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	105.4	2.5	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	104.6	1.7	149,677	-1.1	1.474	56	55	19	17	20
11月	104.7	0.0	150,005	-0.4	1.469	53	40	19	17	17
12月	104.6	1.2	151,631	-0.6	1.452	47	66	8	19	20
24年 1月	104.5	0.5	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	104.7	0.6	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	105.2	0.5	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	r 105.4	-0.3	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	p 105.0	-0.5				45	601	16	18	11
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値